

開催報告

トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会 第15回 天王川自然再生ワーキンググループ



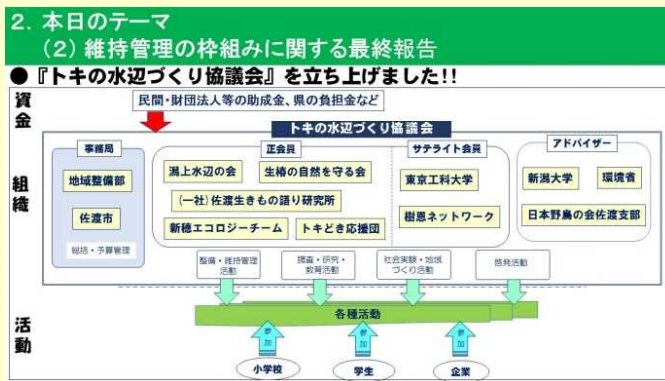
開催日：2017年12月19日(火)18:00~19:45
場所：トキ交流会館2階会議室
参加者：WGメンバー19名、傍聴4名

天王川の自然再生計画と維持管理の枠組みについて、最終確認を行いました。

今回は、これまで14回行ってきた当ワーキンググループの総括として、事務局から、自然再生計画と維持管理の枠組みに関する最終報告を行いました。
また、メンバーから天王川の維持管理や増水時の下流域への影響などについて意見交換をしていただきました。



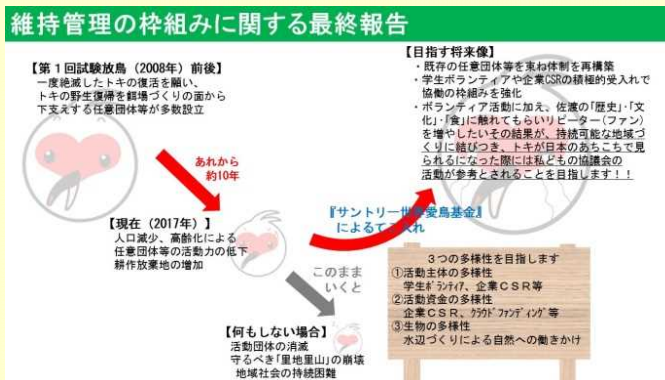
ワーキングの様子



「トキの水辺づくり協議会（H29.8.22設立）」の概念図



自然再生計画（生物多様性について）



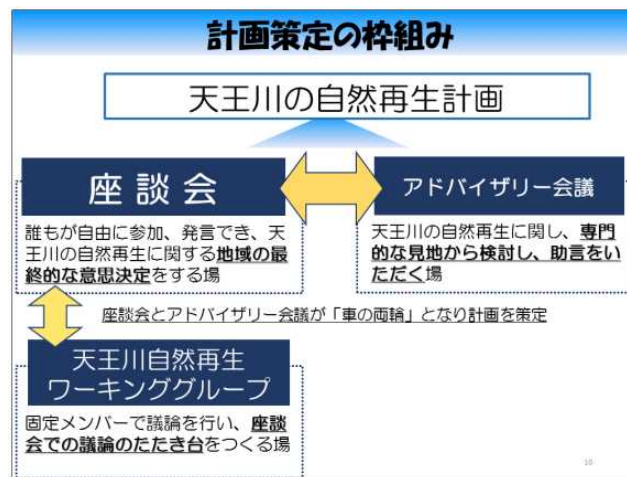
企業CSRを組み込んで持続可能な地域づくりを目指します。

主なご意見やご質問

- 大水で沈砂池が決壊し、沈砂池の水や土砂が一気に流下して、下流で被害が発生しないか？
⇒沈砂池と天王川本川とで、ダムのような高低差が無いことから、沈砂池の決壊や、それによる水害や土砂流出は起こりません。
- 今回の天王川中流域に限らず、下流域についても川の流れを阻害する木々を伐採して欲しい。
⇒適切な管理に努めます。
- 自然再生による生物への影響調査は工事完了後から始めるのか？
⇒工事後のみならず、工事前、工事実施中の各年度も調査します。
- H30年2月に天王川自然再生の今年度工事を着手すると説明があったが、トキの営巣・育雛期にぶつからないか？
⇒トキの営巣・育雛を確認した場合、環境省佐渡自然保護官事務所の指導を受け、工事を一時中止するなどして、トキを見守っていきます。

今後の予定

- 当ワーキンググループは、今回をもちまして解散となります。
- H30年2月頃、座談会を開催し、自然再生計画策定の最終的な意思決定をします。
- 今後は、「トキの水辺づくり協議会」が中心となって維持管理等に取り組んでいきます。
- また、アドバイザリー会議については、専門的な見地に基づくご意見をいただく場として、年に1回程度、開催していきます。



計画策定の枠組みの概念図

天王川自然再生ワーキンググループの構成メンバー

- ◆ 地元集落： 潟上集落、正明寺集落、田野沢集落
- ◆ 関係団体： 佐渡生きもの語り研究所、トキどき応援団、潟上水辺の会、加茂湖漁業協同組合、佐渡島加茂湖水系再生研究所、生樺の自然を守る会
- ◆ 学校関係： 伝統文化と環境福祉の専門学校、佐渡市立行谷小学校
- ◆ 行政機関： 環境省佐渡自然保護官事務所
- ◇ 事務局： 佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市役所建設課、佐渡市役所農林水産課

問い合わせ先 新潟県 佐渡地域振興局地域整備部 担当) 計画調整課 水倉、市橋

TEL : 0259-74-4040 FAX : 0259-74-2048 Email : ichihashi.hirobumi@pref.niigata.lg.jp